

ログミーFinance 個人投資家向けIRセミナー

株式会社マツモト 東証STD (証券コード：7901)

2026年2月21日

Today's Topic

本日お伝えしたいテーマ

株式会社マツモトの**再定義**

卒業アルバム事業からAI×EdTech企業へ

これまでマツモトの強み

- 全国約7,000校との取引
- 卒業アルバム業界での確固たる地位
- 安定した事業基盤

社会変化により
教育・記録・価値の定義が変化

Agenda

- 01. 会社概要** p.03
- 02. 市場評価と成長目標** p.04
- 03. 再定義の具体策** p.08
- 04. 次世代DAT構想の概要** p.09
- 05. 補足資料** p.13

01.

会社概要

- 90年のあゆみ
- 事業紹介

社歴90年

社会構造の変化の度に業態を変えながら成長してきた歴史

名称	株式会社マツモト
創業	昭和7年
資本金	1億円
年商	21.69億円（2025年4月期）
従業員数	187人（2025年4月期）
本社	北九州市門司区社ノ木1-2-1
営業所	東京／名古屋／福岡
工場	松原工場／社ノ木工場／ 猿喰工場／高浜工場

1932

松本写真工芸所という名称で
写真館として創業

1981

本社ビル新築



1992

代表取締役を
松本敬三郎に交代

1994

株式を日本証券業協会
（JASDAQ）に店頭上場
北九州市門司区松原に
印刷・製本工場新築

デジタルシフトへの
挑戦

2003

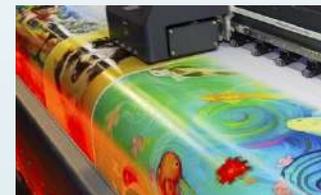
ネット事業への参入
これ以降、様々な印刷系web
サービスを展開

2009

FM10ミクロン
印刷システム導入

2016

小倉北区高浜に
印刷・製本工場新築



Web3.0領域への
参入

2022

代表取締役を
松本大輝に交代
創業90年を迎える



2023

Web3.0サービス
「ShinoVi」開始



現在の主力事業

アルバム事業

創業90年以上の信頼とクオリティを背景に、どこよりも早くアルバム制作のフルデジタル化を実現。

ウェディングや七五三、成人式といったフォトスタジオ向けアルバムと多岐にわたるラインナップを展開。



卒業アルバムシェア

No. 2

年間制作学校数

7,000 校

年間発行部数

約 620,000 冊

未来を見据えた新しい印刷スタイルを実践 印刷会社としての技術優位性が当社にとって重要な無形資産

デジタル印刷



- ✓ 小ロット
- ✓ 高精細
- ✓ スピード生産



全国に数台しかない全自動インクジェット
タイプの輪転機を設置

ホログラム印刷



独自
開発技術



パッケージ、厚紙カード、チケット、
セキュリティなど用途は多岐にわたる

02.

市場評価と成長目標

- 株価推移に関する振り返り
- 中期ビジョン

株価推移に関する振り返り

少子化による生徒数の減少から卒業アルバム事業への成長期待が低下しており、過去3年間で時価総額は40億台から10億円前後へ低迷。



中期ビジョン

企業価値向上には卒業アルバムから成長市場であるAI×EdTechへ事業ポートフォリオをシフトさせる必要があると判断した。

成長目標

時価総額 100 億円企業

2027年4月期

事業構造転換

2028年4月期

新規事業の
収益拡大

AI×EdTechの参入+
成長投資枠の拡大

2029年4月期

売上50億
営業利益6億

営業利益率10%以上を
目指す

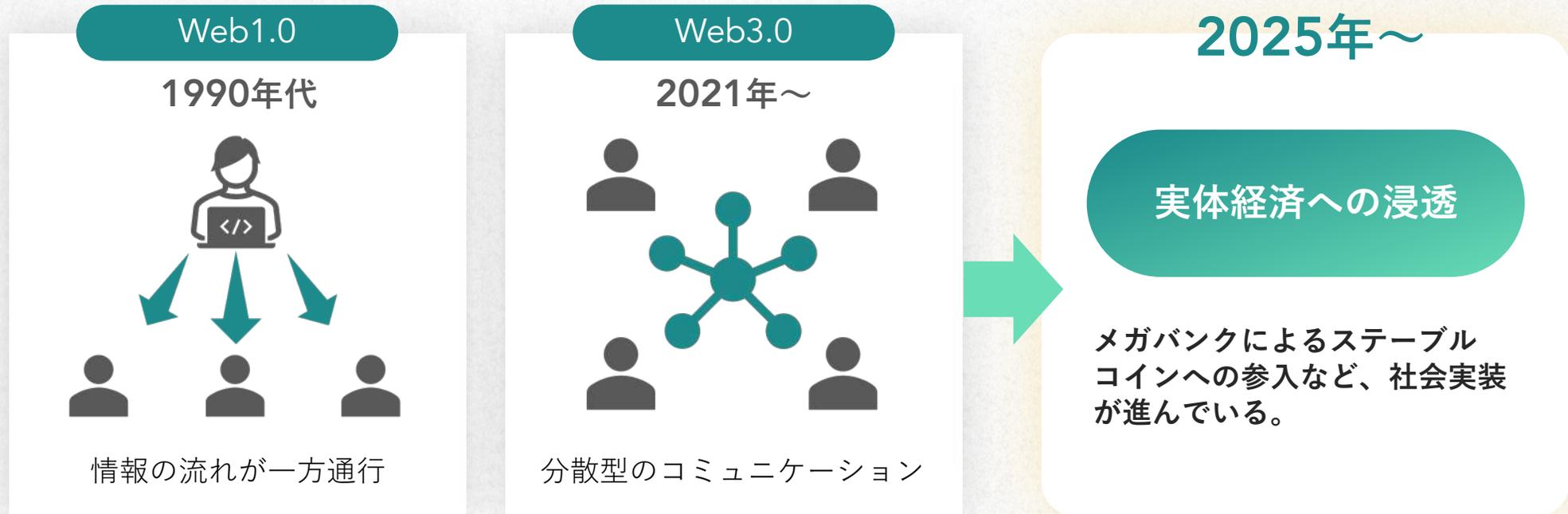
時価総額
100 億円

03.

AI × EdTech 新規事業について

- Web3.0事業
- 事業シナジー
- 新資本体制

Web1.0～Web3.0の特徴



新たな価値創造が可能に

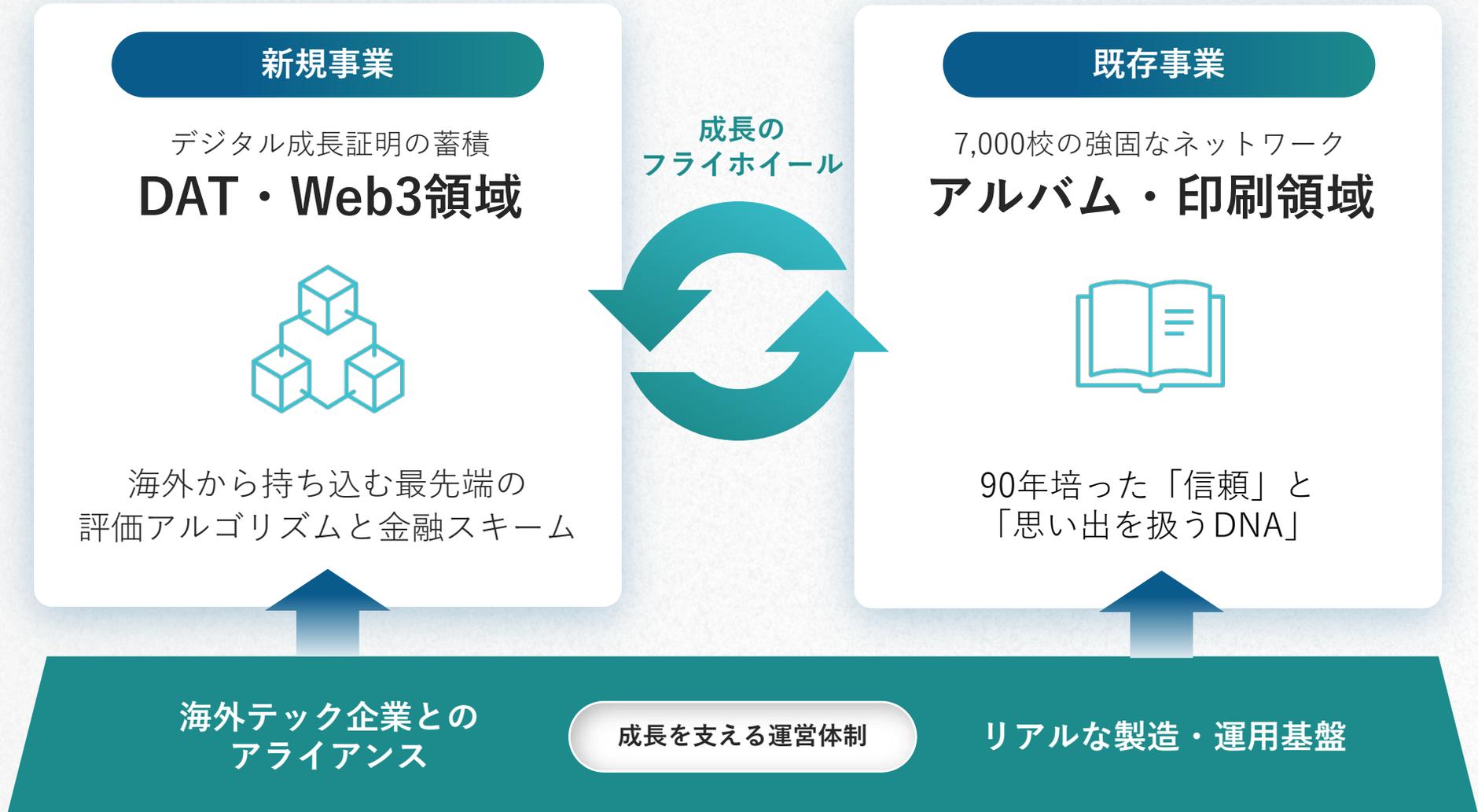
ブロックチェーンと暗号資産を活用し、データを個人に分散させることで、従来の記録管理の信頼性と融合した新しいサービスを作り出しています。

デジタル証明

コンテンツ販売

教育支援

中期ビジョンにおける成長ドライバー



成長を支える資本体制

2025年5月、筆頭株主を **Brand New Retail Initiative Fund** 投資事業有限責任組合に戦略的移行

Brand New Retail Initiative Fund の強み

- 資本政策の設計
- 事業投資の評価
- 資金調達戦略
- M&Aやアライアンス設計



04.

次世代DAT構想の概要

- ー ビジョンと使命
- ー 社会課題と提供価値
- ー 科学的根拠に基づく定量化
- ー 自律型エコシステムの構築
- ー ロードマップ

デジタル

資産

金庫

Digital Asset Treasury

Goal

「見えない力」を資産に変える

Mission

子どもたちの活動履歴(プロセス)を信頼できるデジタル資産として確立する

Vision

DATという基金を設立し、その運用益を活用して子どもたちに還元できる循環型エコシステムを構築

Visible

現在の評価

テストの点数や偏差値

忍耐力

リーダー
シップ

創造性

集中力

協調性

Invisible

見過ごされている
ポテンシャル

現状の評価システムにおける課題

成長記録の分断

学校の成績、部活動での成果、家庭での取り組みなどがそれぞれ独立しており、統合的に記録・評価されていない。

客観的に証明できない

現在の評価は“結果”に偏りがちで、日々の挑戦、継続力、改善の過程といった「頑張ったプロセス」を客観的に証明する仕組みがない。

企業との人材ミスマッチ

企業は限られた面接情報をもとに判断するため、数値化しにくい潜在能力（主体性・粘り強さ・協働性など）を把握しづらい。

Proof of Growth

“成長の証明”

テストの結果だけでなく、
日々の活動やプロセスそのものを
価値として認め、次なる挑戦の原資へ変える

Measure



計測する

マルチモーダルAIと行動科学による
「非認知能力」の定量化。

1

Prove



証明する

Solanaブロックチェーンによる
改ざん不可能な「活動履歴証明」。

2

Value



価値化する

トークンエコノミーを通じた
「学習の資産化」と資金提供。

3

非認知能力の科学的定量化



Input Methods



360° Evaluation

本人・保護者・メンターによる多面評価
主観的なバイアスを相互補完し、立体的な人物像を描き出す。



IAT (Implicit Association Test)

バイアスを除去する潜在的連合テスト。
無意識の思考パターンや価値観を科学的に測定する。



Action Observation

ルーブリックに基づく行動観察。具体的な場面での振る舞いを定義された基準でスコアリング。

マルチモーダル AI解析

行動・発言・継続性・改善など、
プロセスそのものを公平に評価する

Growth

Strategy

Innovation

Impact

Voice/Expression

声のトーン、表情、姿勢などの非言語情報を解析。プレゼン力、自己効力感、挑戦時のストレス耐性などの能力を評価する。

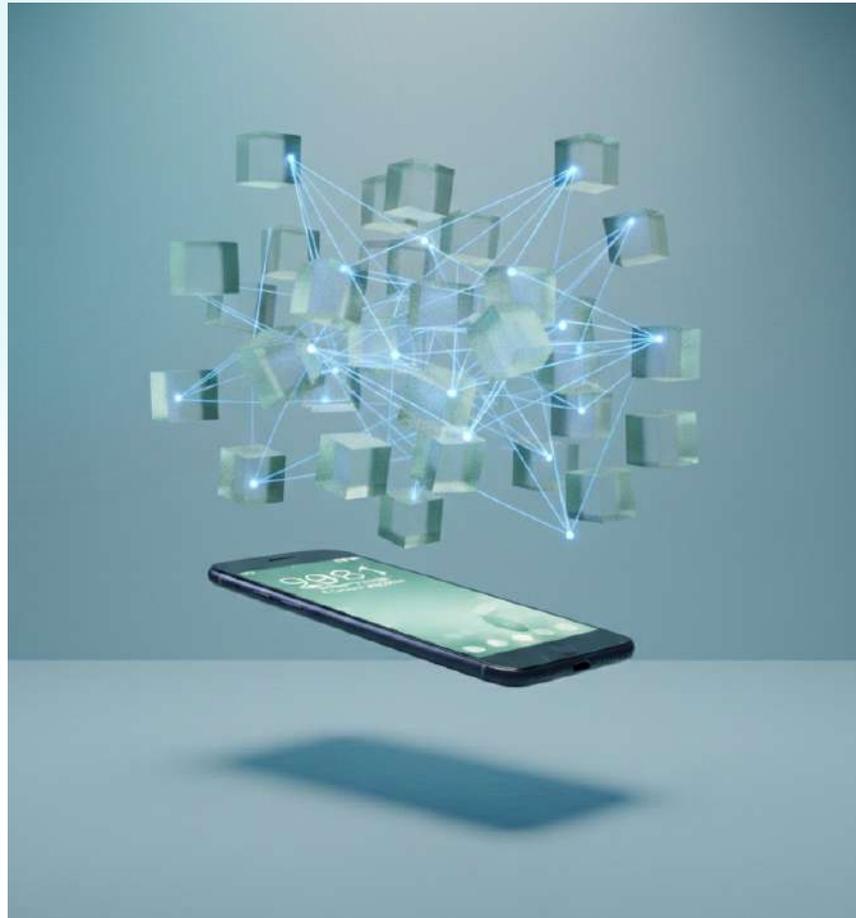
Text/Sentiment

活動日誌や振り返りレポートから、成長マインドセットを抽出。内省力（メタ認知）、成長志向、問題解決力などの能力を評価する。

Output Score

音声・表情・テキスト・行動ログを統合し、プロセス中心のスコアを生成。結果ではなく成長、単発ではなくトレンドで評価する。

Solanaブロックチェーンを活用し、 個人の実績をデジタル上で安全かつ低コストで証明



Verifiable Credentials

01

W3C（Webの標準化団体）が定める世界標準規格。
偽造が不可能なデジタル証明書の形式。

Open Badges 3.0

02

学習実績を証明する国際標準規格。
既存のLMS（学習管理システム）と連携できるため、
学校や企業の既存システムに導入しやすい。

Privacy First

03

自己主権型アイデンティティ（Self-Sovereign
Identity）の考え方。個人情報暗号化され、
必要な時に必要な証明（Proof）だけを提示する。

Sustainable Ecosystem

人材と資金の永続的な循環構造

循環の4つのステップ

1 DAT Treasury

中央銀行の役割を果たすトレジャリーが、学習者に対して資金（給付・投資）を発行



2 Learner / Student

資金を受け取った学習者が、それを用いて成長し、そのプロセスや成果をブロックチェーン上に記録（証明）する



3 Society / Corporate

企業などの社会側が、ブロックチェーン上で検証済みデータに基づき、潜在能力の高い人材を採用する



4 Return

採用した企業からの「採用フィー」や、成功した学習者からの「出世払い」が、再びトレジャリーへと戻る。



提供価値の総括

個人と企業のWin-Winを実現するソリューション

企業



早期発掘と高精度マッチング

「原石」となる人材を検証済みデータに基づいて確保できる。

採用リスクの低減

データの裏付けがあるため、不確実な採用投資を抑えられる。

トークン経済圏の拡大

企業がこの経済圏に参加し、リターンを回すことで、自社の持続的な採用基盤を強化できる。

ポテンシャル採用とミスマッチの解消

The DAT Solution

採用・マッチングプラットフォーム

非認知能力の可視化

ブロックチェーンによる
データ信頼性

成長プロセスに基づいた
マッチング

個人



努力の公正な評価

数値化されにくい日々の積み重ねが客観的に評価される。

資金的自由

学費の心配をせず、挑戦に専念できる環境が提供される。

一生涯のクレジット

自身のスキル成長記録が「信頼の履歴」として蓄積され、キャリアを通じて活用できる。

教育を「コスト」から「投資と循環」へ

学習者を「投資対象（アセット）」と定義。中央プールを介して学習者の成果を資産化・還元することで、持続的なリターンを生む自律型経済圏の構築を目指す。

Type A: Grant
(Scholarship)

即時給付型

投資の狙い

学習の継続（離脱防止）

評価指標

学習時間、課題提出、
スキルの習得状況

経済的メリット

有能な人材をプールに
引き止めるコスト

1
価値の創出



DAT Treasury

収益を最大化する 自律型の中央プール

2
収益の還元



3
複利効果



Type B: Investment
(Microfinance)

将来投資型

投資の狙い

アップサイドの獲得
(利益最大化)

評価指標

キャリアアップ、昇給、
起業による収益

経済的メリット

システム全体の資産価値を
増幅させるエンジン

実装ロードマップ

構想から社会インフラへ

Phase 1

検証

特定のフィールドで試験的な運用を行う。学習履歴が正しく記録され、それが個人の意欲向上や成長に寄与するか検証。

Phase 2

統合

記録されたデータを実際の評価の指標として組み込む。非認知能力や活動履歴を、信頼性の高い根拠として活用できる環境を整える。

Phase 3

標準化

組織の枠を超えて通用する標準規格へ。個人がどこへ移動しても証明し続けられる実績の基盤が完成。

Phase 4

拡大

一時的な支援だけでなく、長期的なログとして、生涯のキャリア形成を支え続けるインフラへと昇華させる。

最後に

マツモトが掲げる 3つの柱

90年の信頼と 先端技術の融合

90年の信頼と7,000校のネットワークを
土台に、AI・Web3.0を融合させた唯一
無二の企業へと進化します。

次世代DAT構想 による社会実装

DAT構想により、子どもの努力を「見える化」し、教育資金が循環する新しい社会インフラを創造します。

時価総額100億円 企業への挑戦

2029年4月期、売上50億円・営業利益6億円。時価総額100億円企業への道を、不転の決意で突き進みます。



免責事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、さまざまな要因によりこれらの予測とは大きく異なる可能性があります。

05.

補足資料

- － 不登校支援事業について



日本の不登校児童生徒数

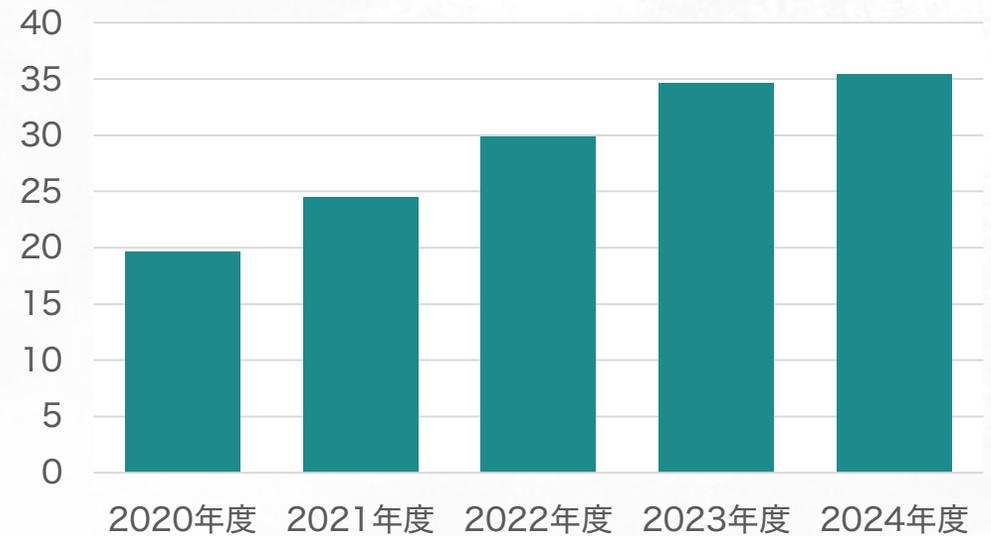
35万人

過去最多

■ 受け皿不足という現実

- 地域差が大きい
- 定員不足
- その先の進学・就労まで繋がらない

(万人) 不登校児童・生徒数 (年度別・全国・小中合計)



出典：文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」
※各年度の詳細数値はe-Stat等の統計データより

3社連携による支援モデル

「不登校問題の抜本的解決を目指す協創プロジェクト」
基本合意書を締結



教育ノウハウ

運営力

3社の強みを統合

拠点展開力

資金設計

共創パートナー紹介

株式会社リーフラス

所在地：東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号
恵比寿ガーデンプレイスタワー20F
企業公式サイト：<https://leifras.co.jp/>



リーフラス株式会社は、全国でスポーツスクールを運営し、非認知能力を育む指導を実施。近年では、部活動の外部委託を全国から受託し急成長を遂げ、2025年10月には米国Nasdaq Capital Marketに米国預託証券（ADS）をティッカーシンボル「LFS」で上場した。

学校法人立花学園 立花高等学校

所在地：福岡県福岡市東区和白丘2丁目24-43
法人公式サイト：<https://www.tachibanahs.net/>



学校法人立花学園は、「一人の子を粗末にする時、教育はその光を失う」という学校創始者の言葉を礎とし、全国から不登校の生徒を受け入れている高等学校。その教育は非常にユニークであり、全国の教育委員会、様々な団体も視察に訪れる非常に注目されている。

目指すのは、段階的な支援モデル

学び、社会、就労まで一気通貫で支援

